

## 2021年度事業報告書

2021年1月1日から、2021年12月31日まで

### はじめに：

世界はこの2年余り、気候変動（破壊）が進み、かつ、パンデミック・コロナ禍の中にあり地球規模の大変動期を迎えている。また、世界の国々は格差社会にあり社会経済の先行き見通しもままならず、模索が続いている。

元来、人類は人々の「交流」により文化文明を創造して発展させてきたと云われ、創造の源泉である交流は、いまや、コロナ禍により閉ざされ、人類は、かつてない本質的な課題を提示されている。超少子化及び超高齢化を迎える日本もまた、内外の環境変化を踏まえても現在と将来に向けての模索が続き、未だ、明るい兆しは見えていない。

このような厳しい環境下において、2021年5月、江戸東京歴史文化ルネッサンス調査研究委員会は、調査研究報告を取りまとめ理事会に答申された。

この基本的な調査研究活動により、「江戸城全体整備構想の策定並びに江戸東京の歴史文化資源を活かした観光まちづくり」にとっては、**現在も近未来に向けても欠くことのできない基本的な視点や運動の縁（やすが・手掛かり）**を得ることが出来た。

### 同年8月、「調査研究委員会報告書」策定・完成した。

5月には、刷新したホームページに「江戸東京の歴史文化資源等プラットフォーム」を新設した。調査研究の成果である600余の文化財を、広く社会一般に、順次、公開することを開始した。

調査研究活動は、2017年「江戸東京歴史文化ルネッサンスビジョン5か年基本計画」をベースに2018年に開始した。2020年、財団設立3周年に設置した気鋭の研究者やイコモス国内委員会並びに文化財保存計画協会のアドバイザーによる「調査研究委員会」を設置すると共にシンポジウム&パネル・ディスカッションの開催等の4年にわたる一連の取組みにより、2018年策定の「江戸東京歴史文化ルネッサンス5か年基本計画」を検証すると共に、2021年11月、新たな「江戸城全体整備構想の策定並びに江戸東京の歴史文化資源を活かした観光まちづくり」による「VISION2032・提言書」の策定に至ることが出来た。

### 12月、特別史跡江戸城跡を背景に千代田区長に提言を行い提言活動のスタート元年とした。

提言活動は、旧江戸城及びその城下町の歴史的文化的遺産の価値を活かしたまちづくりについて調査研究し、その成果や今日的意義を普及し啓発する活動を推進してきた。それらを踏まえて、改めて、江戸東京の文化・芸術の振興に並びに歴史文化資源を活かした持続可能な観光まちづくりの形成・発展に寄与することを目的として関連する自治体や行政及び民間の機関、関係者に「提言」を行うものである。当会は主体的に関係者・関係機関と共に話し合う機会を設定するなどの取り組みを推進する。

## I. 江戸東京の歴史文化資源を活かした観光まちづくり

### 「VISION2032・提言書」の主な課題

次の課題は、江戸東京の歴史文化資源を活かしたまちづくりを推進するための総合力の向上を目指すことにある。関連する自治体及び行政などのあらゆる機関等に存在する縦ワリ組織の壁を乗り越えて取組みが進められるよう提言する。

1. 江戸東京の歴史文化資源を活かしたまちづくり中長期計画の策定：
2. プラットフォーム・江戸東京歴史文化資源等を活かした観光まちづくり」への参加：
3. SDGs 持続可能な観光地域づくり法人・登録DMOを目指す組織の設置：  
Destination Management Marketing Organization)
4. 以上の課題と密接に関わる江戸城全体整備構想（以下「構想」という）の策定のテーマは、一旦留保するものの、目指す方針は堅持し、人・モノ・資金等の相応の体制が整い次第、策定活動を開始する。多くの関係者・関係機関による「協力関係づくり」を提言する。
5. 縦ワリ行政等のしくみや文化の阻害要因、規制や相続税等の税制の改革

## II. 調査・研究事業：

- ・江戸東京歴史文化ルネッサンス調査研究委員会の終了と共に「調査研究委員会報告書」を策定した。（2021年8月）
- ・調査研究の成果である600余の文化財を広く社会に公開すべく事務的な整理を行った。
- ・新たに「江戸城全体整備構想の策定並びに江戸東京の歴史文化資源を活かした観光まちづくり」による「VISION2032・提言書」を策定した。

## III. 普及・啓発・提言事業：

### 1. 普及・啓発活動

これまでの調査研究の成果や2020年策定の今日的意義の検証を通し会報誌やホームページなどにより、広く社会一般に速やかに情報を公開した。

- ・調査研究の成果である600余の文化財をベースに、ホームページ上に「プラットフォーム・歴史文化資源等」を設置し、公開を開始した。
- ・会報誌3月6月12月の3回発行し、関係者・関係機関に無償配布した。
- ・「VISION2032・提言書」を策定し提言活動の柱とした。
- ・セミナーはコロナ禍の影響を受け1回のみ開催となった。（本丸御殿等の復原検討）

### 2. 「VISION2032・提言書」による提言活動のスタート・元年：

2022年12月、まずは、特別史跡江戸城跡を背景にする千代田区長に提言を行い、提言活動のスタート・元年とした。引き続き次年度に取り組みを推進する。

以上